

I. 研究の目的と方法

1. 研究の目的

新たな診療報酬請求制度であるDPC（Diagnosis Procedure Combination、診断群分類包括評価）が、平成15年度から特定機能病院等82施設で開始され、16年度からは全国の社会保険病院25施設を含む一般病院62施設においても試行的適用病院として導入された。

DPCでは、各医療機関の入院患者データと病院データが集計され、これらを分析することにより、在院日数や診療内容、疾患別コスト等が正確に把握され、客観的な比較が可能になるため、入院医療の標準化や効率化を促進する上でも有用なシステムになるものと考えられている。一方、DPCの導入は、当該医療機関の診療機能や医療の質、さらには地域医療などに対しても広範な影響を与える可能性が考えられる。したがって、新制度の施行に合わせて、厚生労働省においてもDPCの導入に伴う諸問題について多方面にわたり詳細な調査を企画実施している。しかし、これまでの調査は主として特定機能病院等を対象としたものであり、一般病院におけるデータは不十分で、その収集が緊急の課題となっている。

そこで、全国社会保険協会連合会（以下、全社連と略す）においても独自に「社会保険病院におけるDPCに関する調査研究班」を組織して、全国の社会保険病院を対象として、DPCの導入によって派生してくる病院機能、診療業務、患者満足度および地域医療等に対する各種の影響を緊急調査することとした。

2. 研究の方法

調査対象は、DPC試行的適用病院（以下、DPC病院と略す、25施設）、比較対照病院としてDPC調査協力病院（以下、協力病院と略す、13施設）および不参加病院（14施設）の計52施設とし、平成16年度の状況について調査した。調査内容は、①DPCの病院機能に対する影響、②DPC導入による患者、医療者及び地域医療に対する影響、③DPCによる医療マネジメントの評価と可能性、の3項目とした。

これらのうち、①については、各病院から提出されている定点観測用データを用いて、DPC開始前後の3ヶ月間について集計比較した。集計作業は全社連企画情報課システム開発室において一括して行った。DPC病院のうち、2病院では平成16年6月からDPCが開始されたが、他の23病院においては7月から開始されたため、DPC開始前のデータとしては平成16年4月、5月、6月分について集計し、DPC開始後については原則として8月以降の3ヶ月間について集計した。なお、一部の項目については、10月以降もしくは過去数年間におけるデータの推移についても集計比較した。

②については、調査に協力の得られた44施設において、平成16年12月～平成17年1月（一部は2月）の期間にアンケート調査を実施した。アンケートの各調査票を巻末に綴じ込み例示した。

③については、全社連における共同研究「定点観測システムを用いたベンチマーク分析によるDPCの評価に関する調査研究」の一環として実施された（主任研究者 札幌社会保険病院 秦 温信院長）。

3. 調査項目と対象

① DPCの病院機能に対する影響

- ・入院診療報酬請求額（全診療科、診療科別、DPC方式、出来高方式）
- ・一人一日当り診療報酬請求額（全診療科、診療科別、DPC方式、出来高方式）
- ・平均在院日数（全診療科、診療科別）

- ・病床利用率（平成14年度～16年度）
- ・再入院患者数および比率（全体、同一病名、異なる病名による再入院）
- ・手術後4週以内死亡患者の頻度
- ・産科における帝王切開、正常・異常分娩数
- ・各種臨床検査の外来・入院別実施件数
- ・ヒヤリ・ハットおよび医療事故（過誤）発生件数
- ・退院時転帰と退院先

② DPC導入による患者、医療者及び地域医療に対する影響

- ・医療達成度・DPCの医療に対する影響：医師の立場から
- ・患者満足度と医療の質・業務内容：看護師の立場から
- ・医療に対する満足度と医療の質について：患者（家族）の立場から
- ・経営方針および業務内容の変化：DPC試行病院の立場から
- ・DPC患者比率の推移

③ DPCによる医療マネジメントの評価と可能性

これらの調査項目と調査対象の施設および関係部局との関係を表1に例示する。

主要データに関する図表は本文の中で紹介したが、調査票の一部は参考資料として各項目の末尾にまとめて収録した。

表1. 社会保険病院におけるDPCに関する調査研究—調査項目と調査対象—

調査項目	調査対象施設			調査協力部局および関係者			
	DPC試行	調査協力	不参加	事務部	医局	看護部	患者(家族)
① 病院機能に対する影響							
調査票1. 入院診療報酬請求額	○	○	○	* (E, F)			
調査票2. 入院一人一日当り診療報酬請求額	○	○	○	* (E, F)			
調査票3. 全診療科、診療科別平均在院日数	○	○	○	* (E, F)			
調査票4. 全診療科 病床利用率	○	○	○	* (E, F)			
調査票5. 全診療科、診療科別再入院患者数	○	○	○	* (E, F)			
調査票5-2. 同一傷病名による再入院患者数	○	○	○	* (E, F)			
調査票5-3. 異なる傷病名による再入院患者数	○	○	○	* (E, F)			
調査票6. 術後死亡、重篤な合併症の頻度	○	○	○	* (E, F)	△		
調査票6-2. 産科における帝王切開の件数	○	○	○	* (E, F)		△	
調査票7. 各種臨床検査の外来・入院件数	○	○	○	* (E, F)			
調査票8. ヒヤリ・ハットおよび事故(過誤)発生件数	○	○	○			○	
調査票9. 退院時転帰と退院先	○	○	○	* (E, F)			
② 患者、医療担当者、地域医療に対する影響							
調査票10-1. 医療達成度・DPC影響：医師	○	○	○	△	○		
調査票10-2. 患者満足度と医療の質：看護師	○	○	○	△		○	
調査票10-3. 患者満足度と医療の質：患者（家族）	○	○	○	△			○
調査票10-4. 経営方針と業務内容：管理者	○			管理者			
③ DPCによるマネジメントの評価	○	△	△	* (E, F)			

○：調査対象施設および調査を担当していただく部局。

△：調査に協力して頂く部局。

* (E, F)：定点観測用に提出されたファイル (E, F) から集計できる項目。